

平成24年度主催・共催事業報告

研修会
レポート

視察研究会に参加して 片平 善明

6月12日(火) 参加者20人

阿武隈川源流の視察研究会に参加した。場所は西郷村—2007年6月村主催の源流ウォーキングで雌滝・雄滝まではいったことがあり、それ以来である。

今回は「西郷くらしの会」の方々と一緒なので、会のフィールドを案内していただいた。その場所は剣桂のあるエラ沢ぞいであつた。

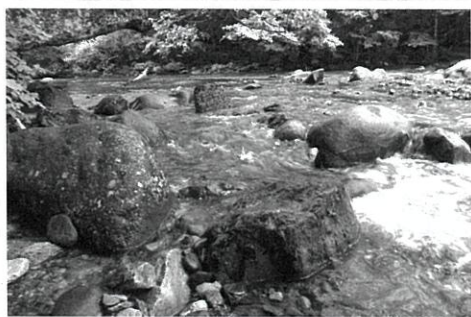
西郷村は甲子山、赤面山、大白森山と山には登ったことがあるが剣桂は初めてである。うっそうとした森にたたずむこの巨木は、剣で鬼神を木に封じ込めたといわれている雰囲気を読ませている。

そのあとに案内された阿武隈川本流ぞいのブナ林。巨木に交じって若いブナもあり、大切にしたいし、後世に残さなければならない。

山菜づくりの昼食のあと「きびたきの森」を歩いた。もう少し時間が欲しかった。

最後に雪割橋の周辺の散策。ここにある熊供養塔の銘、熊撃ち名人の独古直一さんについて初めて知る。いただいた資料によれば、独古さんについて書かれた著書のうち「熊撃ちドッコ」の著書の松葉豊さんは「俺の仕事は俺一代〜利根川源流の男たち〜」という著書の中で、群馬県みなかみ町藤原のやはり熊撃ち名人の吉野秀市さんのことにふれている。この本は読んだことがあり、「熊撃ちドッコ」もぜひ読んでみたいし、不思議な縁を感じた。

雪割橋周辺の遊散歩も、時間をかけて歩いてみたい箇所である。



水質・水生生物調査



7月 1日(日)・8月 5日(日)
9月30日(日)・12月 2日(日)
桜づつみ・荒川橋下流・地蔵原堰堤

河川環境保全の資料収集を目的とした調査は4年目に入り、水質や植物・動物の種類と数を調べました。3ヶ所の定点で、季節ごとに年4回、役員が仙台の環境調査研究所の所員と一緒に調査しました。沢山の植物・鳥・昆虫・水生生物が観察できました。福島に生息しなかったカワムツが定着し、たくさんみられたフクドジョウが少なくなったのが今回の特徴です。

第15回 あづま荒川
クロスカンントリー大会

12月9日(日) あづま陸上競技場をスタート・ゴールとするあづま荒川クロスカンントリーコースで開かれました。雪の降る自然の中を、たくさんの参加者たちが元気に駆け抜けました。

水辺の会わたりと交流会開催

紅葉の美しい10月26日福島市渡利地区の阿武隈川で活動している、水辺の会わたりと視察、研修交流会を開催しました。水辺の会わりの役員、会員、荒川づくり協議会役員総数20人によって、荒川資料室において開催されました。ともに福島市内を流れる一級河川で活動している団体であります。設立や活動内容など共通している点も多く、活発な意見交換、事例や情報提供もありました。

そのあと全員で荒川流域の治水、砂防の土木遺産について現地視察し、大変有意義な交流会となりました。



各賞授与

「ふくぎんみんなのサポート
市民活動助成金」贈呈

ふくしまNPOネットワークセンター2012年度助成事業に応募し、選考会において助成が決定されました。贈呈式は2月18日福島銀行本店において開催され、他の2団体とともに助成金を受領して参りました。今回の事業は福島銀行創立90周年記念として、森川社長から伊藤会長へ助成金が贈呈されました。貴重な助成金は今後の活動に有効利用したいと思います。